

東北森林管理局

## 山形森林管理署 もがみ支署通信

【令和6年度安全大会を開催しました。】

安全大会の様相。



今年度も国家公務員安全週間が7月1日から7月7日までの間『違和感のアンテナ張って事故防止』を統一標語に各機関にて展開されました。

最上支署でも安全週間の一環として、職員の安全に対する意識の向上や安全活動の定着を図ることを目的として、7月1日(月)に安全大会を開催しました。

優秀書をいただきました。



大会の冒頭では、当支署の12年間継続無災害に対して東北森林管理局長より安全優秀賞の表彰があり、賞状のお披露目がされました。

また、安全講話の講師として、NPO法人山形県自動車公益センターより佐藤氏をお招きし、「エコドライブ及び安全運転講習」を演目に講演頂きました。

エコドライブを中心に講演。



今回の安全大会で「守るべきことは必ず守る・守らせる」「してはならないことは絶対にしない・させない」との安全意識を職員ひとりが再認識する機会となりました。

大会終了後は、普段業務に使用している全車両の点検を実施して、安全な走行ができるかの確認を行ったところです。

最上支署では各職員が安全に対する意識を高め、さらに無災害記録を更新していけるよう安全活動に取り組んでいきます。

【国有林野における多目的造林機械導入に向けた検討会に参加しました。】

実演した多目的造林機械です。



【8月21日(土)】山形県西置賜郡小国町に所在する国有林において、置賜森林管理署が主催した「国有林野における多目的造林機械導入に向けた検討会」に参加しました。

近年、皆伐面積の増加に伴い作業面積が増加している下刈作業ですが、作業を行う担い手不足が深刻化しています。東北森林管理局では作業の省力化を目的に筋刈りの導入も進められていて、将来的には機械化により作業の大幅な省力化の実現が期待されています。

下刈と同時に伐根を切削。



検討会では、多目的造林機械による地拵・下刈作業のデモンストラーションが行われました。この機械を用いることで、通常人力で行う地拵作業では撤去できない切株も植付け作業の邪魔にならない程度に切削でき、下刈りもサクサク行っていました。

林業従事者の労力省力化に繋がるよう、こういった検討会に積極的に参画し、林業関係者間で情報共有できるよう今後も取り組んで参ります。



山形森林管理署 最上支署  
〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-1  
1 TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706



東北森林管理局

## 山形森林管理署 もがみ支署通信

【真室川町立北部小学校で出前授業を行いました。】

森林の分布をクイズ形式で。



森林の機能などを学びました。



授業の感想をいただきました。



【8月29日（木）】真室川町立北部小学校の5・6年生を対象に出前授業を行いました。

北部小学校では、総合的な学習の中で森林について学習を行っているとのことで、今回の出前授業では真室川町の森林の特色や前森山団地から産出される前森スギなどについて、学んでいただきました。

授業の中で、自分たちが住んでいる地域にどれぐらいの森林があるかと言ったクイズを出題しましたが、普段から良く学習している様であっさりと回答されてしまいました。

また、森林の持つ機能や、山で行われている仕事などの様ものか、についても学習しました。

山で行われる仕事は森林づくりに繋がるもので、植付、下刈、除伐、間伐を経て主伐へと至ります。主伐の後は、また植付を行い、手入れをしていくことで繰り返し木材資源として利用することができます。

学習をとおして、生徒が森林や林業に興味を持っていただき、次世代の林業の担い手を目指したいと思えるよう願っています。

今後も各学校から要望等ありましたら、ご相談いただければ可能な限り職員派遣に取り組んで参ります。

【真室川中学校生徒が職場体験に来ました。】

ポケットコンパスによる測量。



カードゲームを職員とプレイ。



【9月3日（火）から9月5日（木）】の3日間、真室川町立真室川中学校より3年生1名が山形森林管理署最上支署を訪れ、職場体験しました。

最上地域の国有林の管理等を行っている山形森林管理署最上支署が普段行っている日常業務の一端や森林づくりについて、体験・学習していただきました。

森林整備の中でも間伐や主伐を実施する区域確定するための測量作業を自身がポケットコンパスを操作して測量しました。

また、森林づくりを学ぶため「ZORING」なるカードゲームを最上支署職員と一緒にプレイしました。初めは職員とのやり取りにも緊張していましたが、ゲームを通じコミュニケーションをとっているうちに緊張も取れ、楽しみながら学習できたようです。

このような取組により地元で林業をやって見たいという担い手が生まれるよう今後も地域の取組に参画・協力をして参ります。



山形森林管理署 最上支署  
〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-1  
1 TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706



東北森林管理局

## 山形森林管理署 もがみ支署通信

【スマート林業現地検討会に参加しました。】

検取アプリメニュー画面です。



【9月12日（木）】最上地域スマート林業協議会のスマート林業実践部会が主催する現地検討会に当支署職員も参加しました。

昨年度は、植付けや下刈作業の労力軽減を図るためリモコン式刈払い機やアシストスーツについて実践・検証を行ったところですが、今年度は、木材の検収をICT技術により行い、実践・検証しました。

従来の検収作業（丸太の計測）は山土場で1本1本、丸太の太さ（径級）と長さ（長級）を図り、野帳に記載していきます。計測後、野帳を事業所に持ち帰りパソコンで材積計算を行うことで、計測した丸太の材積量を算出します。

今回実践した木材検収システムはスマートフォンなどに取り込んだ丸太検知アプリを用い丸太をチェックすることで、その場で材積の確認が可能となり、検収作業の簡略化に繋がります。また、確認した材積データは、現場から事業所へデータ送信することができ移動時間も省略することができ効率的です。

実際に丸太検知アプリを用い、積まれた丸太を撮影し材積を算出するところまで体験しましたが、操作性もよく短時間で材積の確認できることを体験したところです。

成長産業と言われる林業も、このような技術が一般的なものとなり、省力化・効率化の促進に繋がってほしいと実感した検討会となりました。

積まれた丸太を撮影しています。



アプリを操作し材積を算出中。



## 【注意喚起!! 最上地域の国有林の林道状況に関するお知らせ。】

沢からの出水による路体消失。



夏の猛暑も過ぎ去り、ようやく季節も秋めいてきました。山間部の紅葉やキノコ採りなどをされるシーズンでもあります。

ただ、夏場に発生した集中豪雨（7月25日から26日）により、最上地域の各地で土砂崩れや河川の氾濫が発生しました。

森林管理署が管理する林道も同様に被害を受け、最上支署管内のほとんどの林道が路体消失や崩土などにより走行不能な状況となっています。

今後、災害復旧工事等により林道の補修を行って行くこととなりますが、まとまった雨による新たな崩落等が発生するなど安全が確保できない状況のため、そういった路線には通行止めの表示を行い通行規制しています。

秋の山野を安全に楽しむためにも、規制された路線には進入しないよう、ご理解とご協力をお願いします。

山腹崩壊による路体消失。



山形森林管理署 最上支署  
〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-1  
1 TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

